

理を堪能し、産業遺構を訪れる体験型ツアーを全4回実施。平成18年には実施した代替バス利用者へアンケートを行い、「運賃が高くなった」「トイレがなくて困る」「鉄道より時間がかかる」などの声が寄せられました。また、平成28年には沿線自治体にアンケートを行い、鉄道廃止前後の人口などを調査。本別町では、バス輸送への変換で通学が困難となり、町外に転出した高校生のいる世帯が、鉄道廃止後10年間で100世帯に及んだという驚きの数字が示されました。陸別町では、人口は減少しているものの、年間商品販売額が増加しているというデータがあります（右表参照）。廃止前から道の駅と鉄道駅の2つの役割を果たしていた陸別駅を体験型観光施設として整備。観光客が多く訪れ、年々販売額が増えているそう。

「やり方次第で、鉄道が廃止となっても関係人口の増加や増収が可能だと示した良い事例」と長南さんが話されたように、マイナスの要素だった"鉄道の廃止"が、観光客の受け入れや地域の特産品開発や販売を進めることでプラスの要素を生み出し、まちに活気を生んでいるということに驚きました。

設問	調査年	回答
人口の推移 (各年4月)	平成8年	3,509人
	平成18年	2,988人
	平成28年	2,530人
年間商品販売額 (商業統計)	平成16年	36億49百万円
	平成19年	32億37百万円
	平成26年	42億65百万円

▲陸別町における実態アンケート結果  
(実施：ふるさと銀河線沿線応援ネットワーク)



陸別駅ではふるさと銀河線の車両が見られるだけでなく、乗車体験や運転体験などが行われ、観光資源として活用されています。

## 2 地域活性化のために必要な鉄道路線



北見駅は石北線で最も乗車人員が多い。貨物ターミナルが隣接しており、たまねぎ列車と呼ばれる貨物列車がここから運行している。

石北線は新旭川ー網走間を結び、234kmと非常に長い線区です。利用特性で見ると、石北線は観光利用が30%、生活利用が37%を占めています。また、オホーツクエリアは北見市のたまねぎをはじめ、多くの農産物が貨物列車で本州へと運ばれるなど、物流の役割も大きいのが特徴。

「鉄道の役割として、[地域間移動][生活移動][観光][物流]の4つがあると考えます。石北線はどれも兼ね揃えていて、存続のためにこれから力を入れていくべきなのは[観光]。他の地域から来てもらって乗車してもらわない限り乗車率のアップやオホーツク全体の活性化に繋がらない」と長南さん。人口減少が進むとともに生活利用も減少となるため、観光客など地域外の方が利用することで利用率の増加に繋がります。ただ、沿線の他の公共

交通と連携が取れておらず、駅からの移動手段が確保できないなどの課題も。

現在『石北沿線ふるさとネットワーク』として行っている活動の1つが、特急列車内での石北線沿線地域の特産品販売。「車内販売は、お土産として購入するだけでなく、その地域の産業や農産物を知ってもらいきっかけ作りだと考えます。商品から地域に興味を持ってもらい、再訪に繋げるなど関係人口の増加に繋がりたい」とオホーツクの持つさまざまな魅力を伝えていく役割も担われています。

これからの石北線について、「北海道新幹線の延伸は、オホーツクだけでなく、北海道全体の観光のあり方や人の流れの変化を生むこととなります。私の活動はオホーツク全体の活性化が最大の目的で、そのためには鉄道が必要です。鉄道を活かすことでもっと地域の活性化ができるはず。少ないオホーツクの公共交通をどうやって回せばうまくいくか、これからも考えていきたい」と長南さん。

道の駅あびらD51ステーションに展示しているSL『D51 320』を見に来られたことがあるそうで、「車両の保存状態の良さに驚きました。このまま維持できればもっと価値のあるものになるはず。町の大切な観光資源だと思うので、大事に守り続けてほしい」と話してくださいました。

取材：木下 知佳（元地域おこし協力隊）

安平町では、室蘭線沿線の5市町でつくる「JR室蘭線活性化連絡協議会」での取り組みに加え、独自に町内全ての公共交通機関で使用できる共通回数乗車券（JRは切符代金として使用可）の発行のほか、JRからの二次交通対策として追分駅での循環バスの接続確保や二種免許取得費助成事業、地域おこし協力隊の配置による早来地区でのハイヤー事業再開（令和7年1月からは月曜日～土曜日8時30分～18時50分の週6日営業に拡大!）など、室蘭線をはじめとした地域公共交通の維持確保に取り組んでいます。

室蘭線は安平町に4駅を有する重要な線区でまちづくりに欠かせません。沿線外の方々の観光利用も誘致しながら室蘭線を沿線住民の皆さんのご利用で支え、私たち一人ひとりの行動からこの地域と生活を守り活性化させていきましょう。

問合せ（安平町の公共交通相談窓口） 政策推進課政策推進グループ ☎ 2751



ハイヤーの営業時間、公共交通の時刻表などはこちらからご確認ください